

えいようだより

2011年(平成23年)

1月号

貝塚市学校給食会

1月24日～30日は「全国学校給食週間」です。

給食週間は、毎日食べている給食について見つめ直し、一緒に考える期間です。

給食がみなさんのもとへ届くまでには、多くの人が関わっています。また、私たちは食べ物の命をもらって生きています。感謝の気持ちを忘れずにいただきましょう。



貝塚市では毎年、給食週間にテーマを決めています。

今年のテーマは、「**野菜のちから**」です。

1月24日(月)～28日(金)の給食は、

地場産物やおいしい旬の野菜を使います。

24日(月) カリフラワーのクリームシチュー (カリフラワー)

キャベツとツナの和風サラダ (冬キャベツ)

25日(火) 牛肉と根菜の元気丼 (根菜類のごぼう・にんじん・大根)

26日(水) 白菜の煮物 (白菜)

27日(木) きのこスパゲッティ (えのきたけ・しめじ・しいたけ)

28日(金) ふきとたけのこの煮物 (ふき・たけのこ)

給食ニュースも毎日あります。

野菜の栄養やはたらきを知っておいしく食べましょう。

食べ物で体のじんからまろう!



寒い時は、服を着こむよりも、
食事をして体の中から温めるのが一番です。



～どんなもの食べればいいの?～

温かい料理を食べる。

寒い時は、温かいものを食べるのが効果的です。食欲が
増し、体が温まって血行も良くなります。体を冷やす生も
のや冷たいものをとりすぎないように注意しましょう。

②たんぱく質などをとる

肉や魚に多く含まれるたんぱく質は、筋肉や
血管など体をつくっている栄養素で、体を
じっくり温めるはたらきもあります。

また、みかんなどに含まれるビタミンCは、寒さ
に負けない体をつくり、アーモンド、ごまなどに多
く含まれるビタミンEには、血行を良くするはたら
きがあります。



香辛料を取り入れる。

料理に風味を添える香辛料。唐辛子、カレー粉など辛み
のあるものや、しうが、にんにくなどは、血行を良くして
体を温めます。

今月の献立より

◆ちゃんこ鍋【17日(月)】

〈1人分の材料〉

鶏つくね	20 g
鮭	20 g
平天	10 g
豚肉	10 g
白菜	40 g
大根	20 g
にんじん	10 g
ほうれん草	10 g
塩	少々
淡口醤油	5 g
みりん	2 g
砂糖	1 g
だし昆布	0.5 g
削り節	2 g
水	40 cc

〈作り方〉

- ① 鮭と豚肉は食べやすい大きさに切る。平天は短冊切り、白菜はざく切り、大根とにんじんはいちょう切り、ほうれん草は塩ゆでし3cmに切る。
- ② 水にだし昆布を入れ、煮立ったら、削り節を入れてだしをとる。
- ③ だし汁に調味料を入れ、大根、にんじんを加えて煮る。
- ④ ほぼ煮えたら、鮭、豚肉、鶏つくねを加え、ひと煮立ちしたら白菜、平天を入れる。
- ⑤ 最後にほうれん草を入れて仕上げる。



※材料は、学校給食(大量調理)で、1人分のものです。作り方も給食の作り方になっています。ご家庭で作られるときは、調味料や水などは加減してください。計量カップ・スプーンを使われるときは、右の表を参考にしてください。

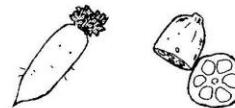
◆白菜の煮物【26日(水)】

〈1人分の材料〉

白菜	80 g
豚肉	20 g
ごぼう天	15 g
厚あげ	20 g
金時にんじん	10 g
春菊	5 g
淡口醤油	4 g
砂糖	2 g
だし昆布	0.5 g
削り節	2 g
水	30 cc

〈作り方〉

- ① 白菜はざく切り、豚肉は一口大、ごぼう天は斜め切り、金時にんじんはいちょう切りにする。厚あげは、一口大に切り、油ぬきする。春菊は3cmに切る。
- ② 水にだし昆布を入れ、煮立ったら、削り節を入れてだしをとる。
- ③ だし汁に調味料を入れ、豚肉、にんじん、白菜を加えて煮る。
- ④ かさが減ってきたら、厚あげ、ごぼう天を加えて煮る。
- ⑤ 最後に春菊を入れて仕上げる。



計量カップ・スプーンによる食品の重量表(g)

食品名	計量器	小さじ (5cc)	大さじ (15cc)	カップ (200cc)
水	酢酒	5	15	200
醤油	みりん	6	18	230
砂糖	(上白糖)	3	9	130
食	塩	6	18	240
小	麦粉	3	9	110
片	栗粉	3	9	130
トマトケチャップ		5	15	230
ウスター	ソース	6	18	240
油		4	12	180